

弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性があります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」によって防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

- ① 速やかな避難行動
- ② 正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。

メッセージが流れたら
落ち着いて、
直ちに行動してください。

屋内に
いる場合

できるだけ窓から離れるか
窓のない部屋に移動し
頭部を守る

車内に
いる場合

車を安全な場所に止め
近くの建物に避難する
(または車内で姿勢を低くする)

屋外に
いる場合

速やかに近くの
できるだけ頑丈な建物に
避難する

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか
地面に伏せて
頭部を守る

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチ等で覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

近くに
ミサイル
落下!



①初期消火訓練 ②起震車体験訓練 ③伊達地方消防組合による救命講習 ④⑤婦人会や自衛隊などによる炊き出し訓練 ⑥町内会ごとに避難 ⑦各地区の訓練状況を確認する太田町長 ⑧被害状況を報告する消防団員 ⑨要支援者支援訓練 ⑩防災ずきんで頭を守ろう

CHECK! あなたのお家の防災行政無線は大丈夫ですか?

防災行政無線(個別受信機)を設置しているものの、「聞こえづらい」「壊れてしまった」など不具合が発生した場合や、新たに設置を希望する方は、住民生活課まで連絡ください。

防災行政無線は、災害などの非常時に必要な情報を知るための貴重な手段のひとつです。日頃から確認しておきましょう。

【問い合わせ：住民生活課住民防災係 ☎ 585-2116】

想像を超える揺れに驚きながらも「貴重な体験ができました」と振り返りました。また、炊き出し訓練を行った婦人会会長の安田節子さんは「いざという時に集まれるのは普段のお付き合いがあるから。特に東日本大震災後、その意識が強くなりました」と、「絆」の大切さを訴えました。

参加者は、訓練を通じて災害の恐ろしさを再認識し、日頃の備えの大切さを実感。町全体が防災意識を高める一日となりました。



東日本大震災で被災した町道(徳江字館ヶ崎地内)
平成23年3月11日に発生した東日本大震災。国見町では震度6強を観測し、町内各地に甚大な被害をもたらしました。

私たちの生活は、常に災害と隣り合わせ。その災害の脅威から生命と財産を守るのは、日頃からの備えです。

町では9月の防災月間に合わせ、防災訓練を行いました。この機にもう一度、災害への備えを見直してみませんか?

国見町では9月10日、災害などの非常時に備えるため、町内各地で防災訓練を行いました。

訓練は地震や土砂災害を想定して行われ、防災行政無線による避難勧告が出されると、町民のみなさんは町内会ごとに一時避難場所へ避難。その後、各地区の中央集会所等へ場所を移し、初期消火訓練や応急救出し訓練などが行われ、「いざ」というときの行動や初期対応を確認しました。

起震車で震度7の揺れを体験した安田駒さん(滝山町内会)は「震度7が来ると分かっていても怖い。身体が動きませんでした」と、

「いざいざ」という時の備え、できているますか?

